地域版 奄美

大島支局
名瀬市柳町12-16
☎0997-53-6498
通信部
名瀬
瀬戸内
徳之島
沖永良部

工事ニュース、工事・企業、ニュース、催し物など支局、通信部へご連絡下さい。

網野子バイパス整備

勝浦トンネル 17年度初めには着工

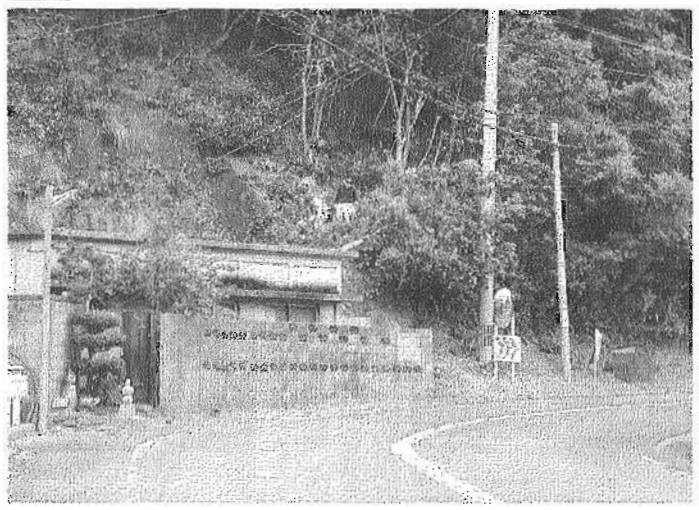
瀬戸内事務所

県大島支庁瀬戸内事務所は、15年度から大島郡瀬戸内町で網野子バイパス事業の整備を進めており、勝浦トンネルに関しては現在地質調査を終え、詳細設計に入っている。15、16年度で設計を行い、17年度初めには着工したい考え。詳細設計は、第一コンサルタンツが担当。

同バイパス事業は22年度まで実施し、調査結果を踏まえてより具体的な詳細設計を実施していく。

勝浦トンネルは延長は、瀬戸内町勝浦から住用村役勝までの約6580㍍。

また同事務所はこのほど、建物調査について網野子側を九州テクノリサーチに発注。3月4日には網野子橋（橋長約20㍍）の詳細設計の指名競争入札を執行する。



測量作業が進む建設予定地＝瀬戸内町勝浦で

南宝建設と幸山建設に

運動設備寄贈で感謝状

大島郡伊仙町で先日開かれた面縄小学校の校舎新築落成式典で、㈱南宝建設の酒匂源宝社長と㈲幸山建設の幸山忠重会長に学校側から感謝状が贈られた。これは2社が同校新築に際してバックネット設備を寄贈したことに対し授与されたもの。

寄贈したバックネットは高さ5㍍、幅12・6㍍の本格的なもので1月24日に設置作業を終えている。酒匂社長は「これまで同校には野球スポーツ少年団が利用できる運動場がなかった。新築造成を機に地域貢献と思い寄贈を決めた。去年プロ野球のロッテに入団した内選手のご両親は伊仙町出身。より良い環境の中で島内からプロ野球にいけるような選手が育ってくれれば」と話していた。同社はこれまでにも同校50周年記念で金一封寄贈や清掃作業などボランティア活動を積極的に行っている。

学校側では「立派な設備を贈っていただき大変ありがたい。子供たちも思いきり野球ができると喜んでいます」と感謝の言葉を述べていた。

記念写真に納まる面縄スポーツ少年団ら＝伊仙町の面縄小学校で

インタビュー席

奄美群島広域事務組合事務局長 花井 恒三氏 (下)

――奄振法の今後の方向性はどうなるか、またどうあるべきとお考えか

これまでの奄振50年は、開発と保全の規模とスピードが全国に比べて保たれてきた方だったと思うが、これからの奄振は奄美群島自然共生プランをはじめ、長寿・子宝プロジェクト、スローライフ・スロータウンモデルなど新たな哲学と工法技術の向上がこれまでに増して求められるのではないか。

また国の法体系の中で国土発展や国益のためにも沖縄と離島の中間的存在の「奄振」は今後も必要と考えています。特に温帯文化圏と亜熱帯文化圏の融合地域としての国土における役割は、鹿児島・沖縄がアジア・太平洋への日本の窓口となる役割が強まれば強まるほど、奄美の役割は大きくなっていくと思う。

地場産業の方向性

高付加価値・多品種少型へ

――後の努力の方向性は（奄振法が今後縮小、あるいはなくなることを前提に）

今、奄美に最も必要なのはマーケティングに基づく産業展開であり、そのための人材コーティングであると考えています。かつて大島紬が全国ブランドとなり、現在冬場のスポーツ合宿や黒糖焼酎などが全国展開されている事例に他の産業も学び、ITの活用により知的観光、文化産業、福祉産業と一次産業、教育産業の組み合わせなど高付加価値型・多品種少型の産業構成を組み立てることが大切です。

これまでの奄振の骨格であった「格差是正」の指標から「経済満足度」の指標を加え、人口構成も「定住」「交流」の従来概念に中・長期滞在者を意識した「半定住人口」の概念を加えていきたいと思います。

これらのことにより意識改革も含め、国の成長産業の資源を豊富に有するといわれている奄美の自立的発展による国土貢献への道筋が拓けていくことを願っています。

略歴

昭和22年、大島郡笠利町生まれ。47年名瀬市役所に採用。60年産業振興部紬観光課紬特産係長、平成元年総務部企画調整課課長補佐兼企画調整係長、3年企画調整課参事、同年7月奄美群島広域事務組合初代事務局長に就任、6年名瀬市総務部活性化対策室長、8年名瀬市総務部企画調整課課長、14年奄美群島広域事務組合事務局長、現在に至る。

市 名瀬

癒しの島体験交流施設 6月に実施計画を公募

16年度から奄振事業で進める名瀬市の「癒しの島体験交流施設整備事業」の第1回検討委員会が25日、名瀬市役所で開かれ、事業概要説明や今後の予定を話し合った。6月に実施計画の公募を計画、施設運営を含めた民間資本導入を見込んでいる。

同施設の候補地としては大浜海浜公園プール敷地及び奥休有地（約4500㎡）、同第2駐車場（約4000㎡）、浜里町のコミュニティ広場（約8800㎡）、知名瀬港背後地（約1万2000㎡）、下水道終末処理場内（約4000㎡）の5カ所が挙がっているが、市側は青森県市浦村の「しーうらんど海遊館」を参考として大浜海浜公園（約4500㎡）に施設面積約2000平方㍍、大規模W一部RC造約1500平方㍍の施設概要を国に申請している。

施設内容は、センターゾーン（約500㎡）、アクアゾーン（約750㎡）、セラピゾーン（約250㎡）、機械室（約500㎡）など。

今後は、4月の第2回検討委員会で施設の方向性と建設場所を決定。6月に先例地調査と実施計画の公募を行い、7月の第3回検討委員会で規模・設備内容の検討、9月の第4回検討委員会で同提案を行う。6月の実施計画公募では施設運営を含め民間資本導入を予定している。

総事業費は約12億円で、事業期間は18年度までの3年間となっている。

あの人この人

友原建設㈱ 土木課長 重信 幸喜さん

――仕事の内容は。

重機関係の配置手配です。

――日頃心掛けていることは。

挨拶の励行。また安全に対して細心の注意を払うこと。

――今一番やりたいこと。

自宅の屋根のペンキ塗りや庭づくり。今後の目標は、土木と舗装の1級資格は持っていますが、建築の1級施工管理技士資格取得にも挑戦したい。

――お気に入りの場所は。

龍郷町戸口にある「アウンリゾート」下の海岸。晴れた日は喜界島も臨め景観豊かな所です。

（名瀬市）

徳之島に、ついに!!
総合警備業 有限会社 薩周
島内一円・沖永良部
☎(0997)86-4965 ㍑86-4378 FAX86-4377
「内容」 交通誘導・イベント警備・巡回警備
一保安警備・機械警備 その他相談に応じます